

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 数学 】

書名 項目	新編 新しい数学 (東京書籍)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○育成したい学力として、主体的な学習を通して数学的に考え表現し問題を解決する力や、身に付けた数学の知識や技能を活用する力、数学を学ぶ意義を理解し学び続けるように設定されている。 ○数学を学ぶ楽しさを実感しながら、日常生活等に生きて働く確かな学力を身に付け、生涯にわたって豊かな生活や社会を築く基盤をつくる方針になっている。 ○小学校と中学校の学習内容の系統性を踏まえ、義務教育における集大成として、すべての生徒の学力向上を実現させるように設定されている。
特 内 容	<基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○「例」と「問」の間に、「例」と同じ型の問題「たしかめ」を置き、段差によるつまづきを解消し、基礎・基本が確実に身に付くようにされている。また、節末「基本の問題」章末「章の問題」も、段階的な問題構成にされている。 ○「ちょっと確認」「算数の振り返り」では定着不十分なものを取り上げ、確認できるようにされている。既習事項を確認するものに「タグ」が付けられている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○「Q」「学び合い」で問題解決や説明、多様な考えを伝え合うような数学的活動や言語活動を促し、思考力や表現力の育成が図られている。側注に問題解決の進め方を示し、学び方が身に付くように配慮されている。 ○「数学マイノート」で思考過程を書かせ、思考力等を伸ばすようにされている。「数学発見レポート」で振り返る活動を促し、言語活動の充実が図られている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「もっと練習」で少し難しい問題を取り上げ、「問」をやり終えた生徒が進んで取り組めるように配置し、習熟度に応じた学習ができるように構成されている。 ○「補充の問題」では、「問」に対応した問題を繰り返し練習することにより、基礎・基本の定着を図るとともに、巻末に解答を用意し、家庭学習等の利用も図られている。少し難しい問題には印を付け、習熟度への対応が図られている。 <数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫> ○「活用の問題」では、事柄や事実、方法、理由を説明する記述式の問題や、現実の場面で得られた情報から必要な情報を取り出して解決する問題を取り上げ、数学的思考力や表現力を伸ばし、読解力を高めるように工夫されている。 ○「数学のまど」や「社会とつながる」では、社会や職業における数学の活用を取り上げ、数学を学ぶ意義や有用性が実感できるように配置されている。
色 資 料	○写真、カットが多用され、色使いも豊富で親しみやすく工夫されている。「巻末課題編」では、各領域の内容を統合するなど課題学習の充実が図られている。 ○個に応じた豊富な問題が配置されている。また、教育課題への対応として、数学と日常生活との関連を実感できる題材や環境保全への意識が高まる題材、我が国の数学文化への親しみが持てる題材が各学年で多く扱われている。
表 記 ・ 表 現	○各小節初めに見通しを持って学習が進められるよう「学習課題」が明示され、「Q」につなげられている。重要用語等はルビ付ゴシック太字、まとめは緑枠で示され、文節改行が取り扱われている。紙面外側のツメにより検索性が高められている。 ○パラパラマンガの手法で学習内容を動的に把握できる工夫がされている。模範解答をノート形式で示し、解答の標準的な書き方が分かるよう構成されている。
総 括	見通し・振り返り活動や言語活動、自分の考えを書く活動の充実が図られている。関連写真やイラスト、「まちがい例」を取り上げるなど学習を補足する工夫が多彩であり、つまづきを減らすように配慮されている。配当時数はゆとりを持って指導できるように配列されている。巻末資料等、個に応じて学力を伸ばす工夫も充実が図られており、主体的な学習が展開されるように構成されている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 数学 】

書名 項目	新版 数学の世界 (大日本図書)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、各章の学習活動においては、既習事項との関連を重視し、導入部分を丁寧に扱うよう構成されている。 ○数学的な思考力・表現力を養い、学習した内容を活用する力を育てるために、数学的活動を充実させている。各学習活動において、予想をしたり、解決のしかたを考えたりする過程を大切にするよう構成されている。 ○学ぶ意欲を高めるために、学習内容に関連する扉写真やコラムを掲載し、事象を数理的にとらえていく能力を高めるよう設定されている。
特 内 容	<基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○学習内容の定着を図るために、スモールステップの手法を取り入れ、繰り返し練習する機会を充実させている。また、側注に「思い出そう」を設け、既習事項を振り返ることができるように構成されている。 ○教科書全体を学習活動形式にすることで、数学的活動を通して基礎的・基本的な概念が理解できるように構成されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○「研究をしよう」や「レポートを書こう」のページで、発表の仕方やレポートのまとめ方を学ぶことができるように構成されている。また、「ノートづくり方」では、ノートづくりを通して数学的な思考力・表現力を高めるように、ポイントが示されている。 ○各項は数学的活動を重視して構成し、典型的な活動には「見いだそう」「利用しよう」「伝えよう」のマークを付けてわかりやすく構成されている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○適用問題の補充として「プラス・ワン」、節末の「練習」など、学ぶ意欲にこたえ、理解度に応じた学習ができるよう、章末や巻末には豊富で多様な問題のページが設定されている。また、巻末にこれらの問題の解答が掲載されている。 ○「もっと数学」を発展的な学習として位置付け、興味や関心に応じて活用できるように工夫されている。繰り返し練習する機会を充実させている。 <数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫> ○現代社会における福祉、環境、防災などの問題を題材として取り上げるなど、学習した内容と日常生活との関連が図れるように配慮されている。 ○「社会にリンク」では、実社会で活躍する人物による数学を学ぶことについてのコラムが掲載されている。
色 資 料	○興味・関心を持って主体的に学習に取り組めるように、口絵や各章の扉、節の最初には写真が多く掲載されている。巻末には、実際に制作できる付録が用意されている。 ○学習に関連した記事を集めた「Mathful (マスフル)」を設け、数学の歴史や数学者、美術や音楽などの芸術分野との関わりを紹介するなど、文化としての数学を知り、生涯学び続ける態度を培うように構成されている。
表 記 ・ 表 現	○見開き2ページで小節がまとめられており、1時間構成にされている。 ○新しい用語・記号は太字で記されており、公式や定理は赤い枠で囲まれている。解答例が板書形式でまとめられている。 ○使用する文字の大きさを1年と2、3年で変え、小学校算数や高等学校数学教科書とのギャップを少なくするように構成されている。
総 括	1 単位時間分の学習内容が見開き2ページにまとめられている。そして、数学的活動を通して行われるように工夫されている。その構成も決まった形式となっているので、学習の流れをつかみやすいものとなっている。「練習」問題はA・Bの2段階構成となっており、カラーが効果的に使われている。主体的な学習が展開されるように構成されている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 数学 】

書名 項目	中学校 数学 (学校図書)	
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none">○「問い」が学習のつながりを生むことを意識することで主体的に学習に取り組む態度を養い、協同学習を通してつねに言語活動を意識して学習を進め、身のまわりのことがらと数学との関連を感じて活用できるように構成されている。○学習のつながりを意識しながら問題を解決することを通して、真理を求める態度や個人の能力を伸ばし創造性を培う態度の育成を図るよう構成されている。○身のまわりの課題を解決することや話し合い活動を通して、職業等との関連を重視し自他の敬愛と協力を重んずる精神を養うように構成されている。	
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○「例題」後の「問」で問題数を確保し、教科書で学ぶことにより知識・技能を習得し、「確かめよう」で基礎・基本の理解の確認ができるように設定されている。○小中高の接続や系統性を意識して構成されている。領域ごとに「ふりかえり」を設け、小学校や前学年までの既習事項との連携を図り、高校で学ぶ内容の紹介により興味・関心を抱かせるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○章の導入で問題解決中に抱いた問いや次の学習につながる発問を用意し、導入問題で学習する動機を明確にしながら学習を進められるよう配慮されている。○「数学で使われる考え方」では、類推法、帰納法、演繹法を各学年で紹介し、数学的な考え方の基本を提示するとともに、考え方が側注に明示されている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○「計算力を高めよう」で、技能の習熟が図られている。「章のまとめの問題」は基本・応用・活用に分け、巻末「復習」は習熟度に対応して配置されている。○学習のまとまりの終わりに次の学習につながるための投げかけと、その学習を行う項数を明示することにより、能動的な学習が行えるように工夫されている。また、生徒自ら復習できるように本文に参照項・箇所が記されている。 <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○「章のまとめの問題」の中に既習事項を身のまわりの場面や数学の学習に活用する課題を設定し、活用力や読解力の育成が図られている。「深めよう」では、知識をさらに深め広げることができる課題が設定されている。○「さらなる数学へ」では、協同学習をテーマに日常的課題や横断的課題により探究学習の促進が図られている。数学的活動を重視する項で、模範的な説明の仕方や話し合いの内容を示し、説明や討論の仕方が身に付く配慮がされている。	
	資 料	<ul style="list-style-type: none">○「クローズアップ」で学習内容に関連する内容を取りあげ、数学的な見方・考え方を深める課題や生徒の素朴な問いに応えることができる話題が示されている。また、その中で数学史の一端に触れ、興味・関心の喚起が図られている。○適切な個所で課題の内容に関連する職業や仕事が明示されており、数学が活かされていることを実感できるように配慮されている。
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none">○各小節初めに学習内容の「目標」を置き、終末では疑問に対する次の学習事項が「吹き出し」に示されている。重要用語等はルビ付ゴシック太字、まとめを黄緑黒枠で示され、各章で紙面外側にツメをつけ、検索性が高められている。○「例題」では「解答」をノート形式で示し、模範的な解答の書き方を示し、気をつける点やよりよい書き方等も同時に示すことで、復習に役立つノート作りが促されている。
総 括	<p>「つながる」「身に付く」「活かす」をモットーに、課題に対して見通しを持ち、様々なつながりを意識して学習を進めることを通して学力を確実に身に付け、さらにそれを日常生活等に活用できるように構成されている。工夫された課題やポップなデザイン等、興味・関心を持続させ、自ら進んで次の学習へ目を向けられるような内容となっており、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p>	

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 数学 】

項目	書名 新版 数学の世界 (教育出版)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○教材や話題を豊富に掲載し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるように構成されている。 ○主体的に学習できるページを多く設け個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるようにしている。また自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように構成されている。 ○数学的な活動を通して学習を進めることで、数学的な思考力・表現力を養うとともに、数学のよさを実感できるように構成されている。
特色	<p>特 内 容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○章の入口には既習事項を確認する問題「学習する前に」を、出口にはその章で学習した基礎的・基本的な内容をまとめる「学習のまとめ」を設定されている。 ○既習事項で定着していない内容については「もどって確認」で取り上げ、設定されている。多く見られる誤答については誤答例を示し、どこが間違っているのかを考えさせる問題が設定されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○「Let's Try」では教科書の紙面を使って活動ができるようにし、またその活動を通して、生徒が疑問を抱き、その疑問に答えるようにして章の学習にスムーズに入るように構成されている。 ○言語活動として扱える問題には「伝え合おう」「話し合おう」のラベルを付け、自分の考えを説明したり、まとめたり、話し合ったりする活動が設定されている。また、思考力・表現力を高めるように「ノートの手帳」が掲載されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「章のとびら」は身近な題材が扱われており、章の学習の必要性を実感することができるようにされている。 ○「チャレンジコーナー」「数学ミニ事典」「数学メモ」「数学の広場」「自由研究」では興味・関心に応じて主体的な学習が展開できるように構成されている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫> ○「学習の進め方」では新しい法則を発見したり、学んだことを日常生活に活用したり自分の考えを伝え合ったりすることの大切さを示されている。 ○「みんなで数学」では、日常生活や社会で数学を活用したり、筋道を立てて説明したり伝え合ったりする活動が取り上げられている。</p>
色	<p>資 料</p> <p>○身の回りにある具体的な場面に関連させ、問題解決する際や操作順序を示す際に挿絵や写真が用いられている。また3学年すべてに、巻末に切り取り教材が用意され、立体模型の作成や座標平面を載せられている。 ○統計資料などは行と列が色分けされて記載されており、複数の場合には比較できるように1ページ内に配置されている。</p>
色	<p>表 記 ・ 表 現</p> <p>○各単元の始めに、学習の目標や導入問題が太字で示されている。また、定義に関する説明には、色アミをつけて目立たせており、公式や定理のまとめでは、文字による説明だけではなく、図をあわせて示されている。 ○新しい用語や記号は黄色の枠の中にゴシック太字で示され、1章、2章については、やや文字を大きく設定されている。</p>
色	<p>総 括</p> <p>例題後に多くのページで「たしかめ」と「問」の2種類の問題が掲載されており基本の確認を深めるようにされている。また、側注の吹き出しを効果的に使用されている。章末にその章で学習した基礎的・基本的事項を穴埋め形式で確認する「学習のまとめ」を用意し自分の理解度を図る工夫がされており、主体的な学習が展開されるよう構成されている。</p>

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 数学 】

書名 項目	未来へひろがる数学 (啓林館)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○数学を活用して身のまわりの問題を解決する課題を適切に位置付け、数学を学ぶ意義と有用性を感じることができるよう工夫されている。 ○根拠を明らかにし、筋道を立てて説明する力を身に付けることができるように、言語活動の場面を意図的に設定されている。 ○思考力・判断力が学習の中で培われ、一人ひとりが多様な個性・能力をさらに伸ばして創造力が養われるように、「千思万考」、「ひろがる数学」でじっくりと考える力を育成できるように構成されている。
特 内 容	<基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○新たな内容を学習する際に、小学校の内容を含め、すでに学習し関連することを「ふりかえり」で示し、理解を深められるようにされている。 ○基礎・基本の定着を図るための「基本のたしかめ」や「くり返し練習」、「まとめの問題」が設けられている。「基本のたしかめ」と「くり返し練習」には、振り返って学習するページが示してあり、学び直しの機会が設定されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○思考、判断のきっかけとして、「同じように考える」「逆向きにみる」「すでに学んだ形にする」などのキーワードを取り入れて提示されている。 ○試行錯誤したり、じっくりと順序立てて考える問題「千思万考」を設け、論理的に考える力、工夫する力、連想する力の育成を図るように構成されている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○MathNavi ブック (別冊) の「学びをつなげよう」では、学び直しができるように工夫されている。 ○新しい学習のはじめの「学習のとびら」では、章や節で学ぶ内容を把握し、学習意欲を高め、主体的に学習が進められるように工夫されている。 <数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫> ○MathNavi ブック (別冊) の「学びをいかそう」では、各章での学習を活用して身のまわりのことがらを調べた例が紹介され、数学を学ぶ意義や有用性を実感できるように工夫されている。 ○「身のまわりへひろげよう」では、生活や社会との関連を重視して、生活の中から数学的な課題を見つけたり、数学を利用して身のまわりの問題を解決したりしようとする態度を育てよう工夫されている。
色 資 料	○生活の中で数学が使われている場面を学習内容と関連させて写真で紹介したり、本文の説明を補うための図や表を効果的に使用したりして、理解を深めさせるよう工夫されている。 ○統計資料などには、生徒に馴染みやすいものが使用されており、具体的な場面が想像しやすいように工夫されている。
表 記 ・ 表 現	○内容を理解しやすいように、単語の途中で改行せず、意味や文節による改行がされている。また、文章表現はできるだけ簡潔で分かりやすく、やわらかい表現になるように工夫されている。 ○例や例題にタイトルが付けられていて、学習内容が明確にされている。また、例題の解答がノート形式で表記されている。
総 括	本冊と MathNavi ブック (別冊) の構成で、生徒の実態や授業時数に応じて、幅広く学習できるように構成されている。「ふりかえり」では、既習内容とのつながりを重視しており、基礎・基本の定着が図られている。また、「身のまわりへひろげよう」や「千思万考」では、基礎的な知識・技能を活用する場面が意図的に設けられ、主体的な学習が展開されるように構成されている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 数学 】

書名 項目	新版 数学の世界 (数研出版)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○生徒自ら取り組む問題を幅広く網羅することで基本的な理解を確実なものにするとともにいろいろな課題を解決する能力が身に付くように配慮されている。 ○数学的な見方・考え方のよさを実感するため、知識・技能の習得とそれを活用する場面とのバランスに配慮されている。 ○数学的活動を通して数学的知識や技能を幅広く身に付くようにされている。また、基礎・基本の習得、解決能力、主体的な学び、興味・関心の喚起をすることで、なだらかな学力向上を図るよう構成されている。
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○学習内容を理解する上で必要な考え方や手順が、吹き出しを用いてわかりやすく説明され、例・例題と問で段階的に進めるように配慮されている。 ○教科書の巻頭の「クイックチャージ」では前学年の既習事項の確認が掲載されており、また必要に応じて問題演習ができるように「ドリルでチャージ」も用意されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○「章の問題」では難易度もバランスよく設定されており学習事項の理解を確実にするように構成されている。また、「考えよう」では知識や理解がより深まるように配慮されている。巻末の「深めよう」は、より発展的な問題が用意され、応用力や理解力が高まるように例題つきで取り上げられている。 ○「ノートづくりかた」ではノートをとる際の注意点を明記されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○章・節のはじめに、学習のきっかけとなる「Q」、議論や作業を通して考える「Q」の2種類が設定され、「説明文」や「問」でも数学的活動を含むものにはマークがつけられ学習できるようにされている。 ○式変形は途中の過程にも説明がつけられており、例や例題に表題をつけ自学自習を助けるよう工夫されている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫> ○「章とびら」では身近な話題を扱い数学への興味を持てるようにされている。 ○「数学探検」では既習事項を活用してものごとを考えたりするような話題が取り入れられ、日常生活と数学の関係に関心を持ちながら学習に取り組めるよう配慮されている。</p>
色	○図やイラストも見やすく、身近な話題を扱い、数学への興味、印象を持たせるよう工夫されており、本文のポイントとなる場面ではキャラクターの挿絵を使って強調されている。 ○統計資料などは行と列が色分けされて記載されており、複数の場合には比較できるように1ページ内に配置されている。
資 料	○例と問の違いが形と色分けでわかりやすく、例題の解答は枠囲みで示され解き方の手順が理解できるように工夫され、公式や定理は色のついた枠で表示されている。また図や吹き出しを右1/3に配置する構成で統一されている。 ○新しい用語や記号は大きくて見やすいゴシック太字で示され、図やグラフはやや大きく書き込みにも配慮されている。
表 記 ・ 表 現	○例と問の違いが形と色分けでわかりやすく、例題の解答は枠囲みで示され解き方の手順が理解できるように工夫され、公式や定理は色のついた枠で表示されている。また図や吹き出しを右1/3に配置する構成で統一されている。 ○新しい用語や記号は大きくて見やすいゴシック太字で示され、図やグラフはやや大きく書き込みにも配慮されている。
総 括	操作活動を通して考える「章とびら」、思考力を深めるための「発展」、また「やってみよう」「考えよう」と巻末の「数学探検」では、数学的活動を促す場面が多く設けられている。巻末のまとめの問題「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」は習熟の程度に応じた指導ができるように段階的な構成になっており、主体的な学習が展開されるよう構成されている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 数学 】

書名 項目	中学数学 (日本文教)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○基礎・基本を確実に習得させるために、学習のねらいや内容の展開がわかりやすく、意欲的に学習が進められるように設定されている。 ○数学的活動を通して学んだことを深めたり、多様な考え方に基づいて考察させたりすることで、数学的な考え方を育成し、表現する能力を高めるように構成されている。 ○身近なことがらと数学の関わりや、数学が発展してきた歴史などを通じて、数学のよさや有用性を実感し、意欲的に取り組めるように構成されている。
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○各小節の分量が調節され、1時間の学習内容として構成してあるため、学習の区切りが明確で復習がしやすく工夫されている。 ○既習事項を思い起こすための「次の章を学ぶ前に」を全ての章の直前に設けたり、学習の途中で参考になるページを示す「ふりかえり」が記載されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○数学に関する用語の使い方を理解できるように、その用語を使った表現の具体例を「表現の例」として示されている。 ○学習活動の中に、「見つけよう」、「生活への利用」、「説明しよう」を設け、基礎的・基本的な知識・技能を習得する過程で、思考力、判断力、表現力等を段階的に高めていけるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○章の扉では、学習の必然性やストーリー性を重視した課題や身近な話題によって、学習意欲を高められるよう工夫されている。 ○基礎的な技能の問題である「くり返し練習」や、やや難易度が高い「とりくんでみよう」が用意されており、授業中だけではなく家庭での学習にも役立て、主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p><数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫> ○章末の「深める数学」と「生活への利用」では、その章で学んだことから新たな数学を見出したり、生活や社会で利用したりすることができるようになるための能力と態度を伸ばすよう工夫されている。 ○「数学のたんけん」などで、数学の世界が日常生活や社会とつながるような話題を豊富に取り上げ、関心を持ちながら学習に取り組めるよう配慮されている</p>
資 料	○写真、図、表を用いて、効果的に学習を支援し、数学に対する興味・関心を高めるように工夫している。また、問題解決のポイントには、生徒やキャラクターの挿絵や吹き出しが用いられている。 ○統計資料などは、生徒の日常生活や将来の社会生活に関連するものを取り上げ、生徒にとって身近で親しみがあるものにより構成されている。
表 記・ 表 現	○各小節の始めにある「Q」や「★」で、導入課題やねらいが太字ゴシック体で示されている。また、「基本の問題」と「章のたしかめ」には、評価の観点のマークが示されている。 ○用語・記号は太字で示されており、公式や定理等は色の四角でまとめられている。例の解答例は、ノートに書いた様にとまとめられている。
総 括	全ての章の直前の「次の章を学ぶ前に」や「ふりかえり」では、学習の参考になる内容やページが示してあり、基礎・基本の確実な習得が図られている。また、思考力、判断力、表現力等を段階的に高めていけるように工夫されている。「数学のたんけん」では、数学が日常生活や社会とつながるような話題を豊富に取り上げ、主体的な学習が展開されるよう構成されている。